

KTC

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただき、安全にご利用ください。

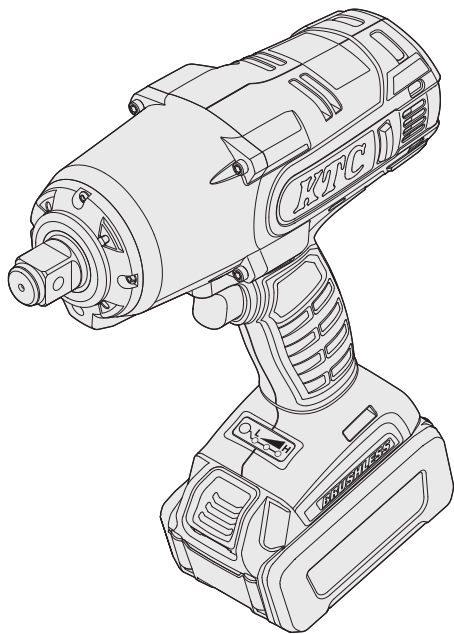
19.0sq.

コードレストルクリミット インパクトレンチセット

No.JTAE682

取扱説明書

業務用



- 梱包内容をご確認いただき、不足、破損のある場合は、お求めの販売店までお申し出ください。
- この取扱説明書は、必要なときにすぐ読めるように、大切に保管してください。
- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この取扱説明書を必ず添付してください。

販売者の
名称・所在地：**京都機械工具株式会社**

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地 128 番地

本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店、
もしくは、お客様窓口にご連絡ください。

お客様窓口



0774(46)4159



0774(46)4359

お電話での受付時間は 10:00-12:00 / 13:00-16:00 まで
(土・日・祝日及び弊社休業日は除く)

N T074001-0

MADE IN TAIWAN

※仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

もくじ

はじめに

■梱包内容	03
■製品スペック	04
○インパクトレンチ本体 No.JAE682	04
○バッテリーパック No.JBE18050K	05
○充電器 No.JHE180K	05

お使いになる前に

■バッテリーパックの充電	06
■LED ライトについて	06
■安全シグナルについて	06
■安全上のご注意	07
■使用上のご注意	08

本体の使用方法

■バッテリーパックの使い方	09
○バッテリーパックの取り外し	09
○バッテリーパックの装着	10
○バッテリーパックの充電	10
○充電ランプの見かた	11
○バッテリーインジケーターの見かた	12
■バッテリーパックについて	12
○長くお使いいただくために	12
○長時間ご使用にならないとき	12
○バッテリーパックの寿命	12
○バッテリーパックの廃棄	12
■インパクトレンチの使用方法	13
○先端工具を取り付ける	14
○インパクトレンチを操作する	15
○仮締めモードの操作	16

保管方法とメンテナンス

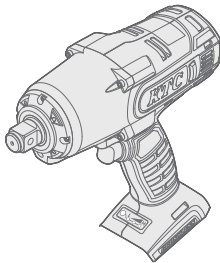
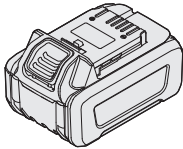
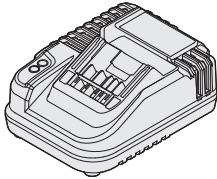
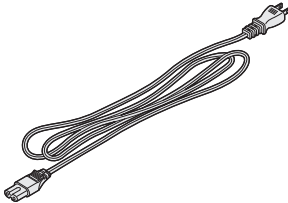
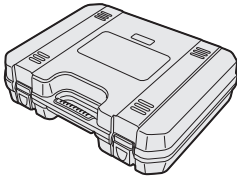

■保管方法	17
■メンテナンス	17
■製品の廃棄	17

故障かな?と思ったら	18
------------	----

はじめに

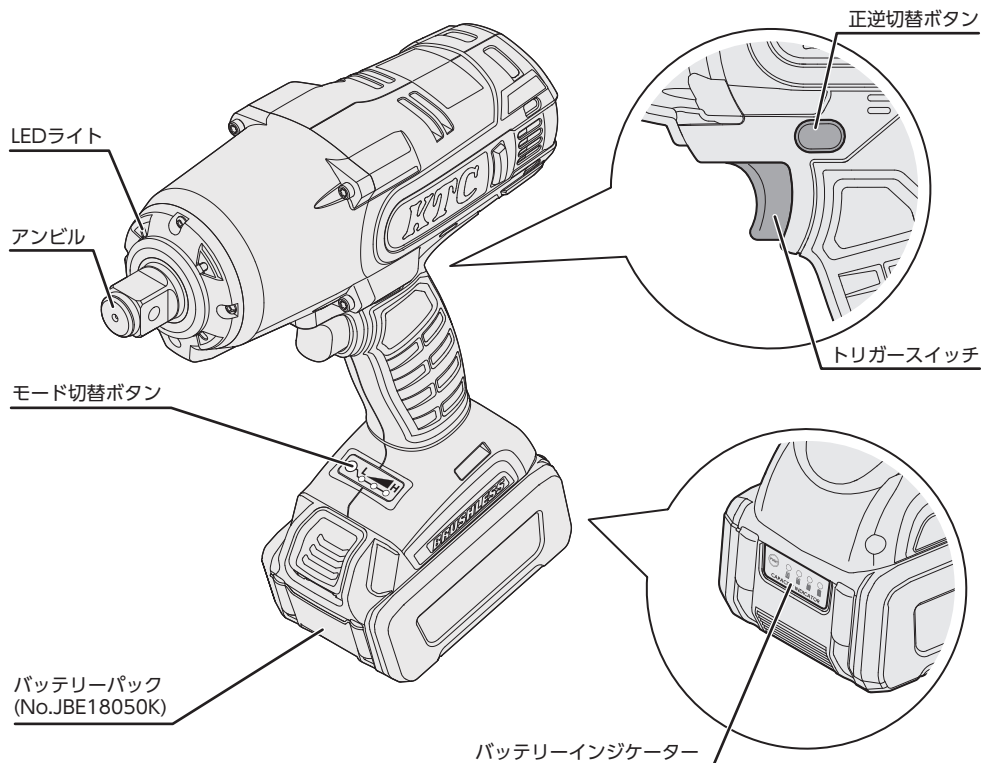
本製品は、ボルト・ナットを緩めたり、仮締めしたりすることを目的とする、トルクリミット機能付きの電動コードレスインパクトレンチです。
その他の目的には、使用しないでください。

■梱包内容

本体	バッテリーパック	充電器
	 2 個	
電源コード	専用ケース	取扱説明書
		

製品スペック

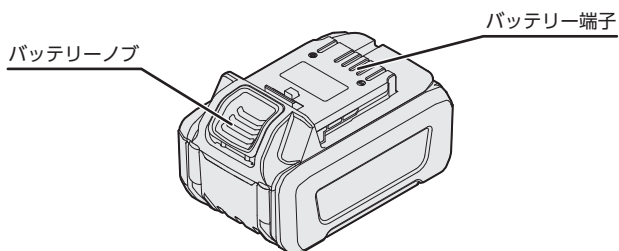
■インパクトレンチ本体 No.JAE682



方 式	コードレス充電式電動インパクトレンチ	
入 力 電 圧	18V DC	
能 力 ボ ル ト	六角ボルト M30	
トルク	最 大	1100N・m ※
	実 用	950N・m ※
無 負 荷 回 転 数	0~2100rpm ※	
ド ラ イ ブ 角	19.0sq.	
寸 法 (長 さ x 幅 x 高 さ)	240mm x 79mm x 284mm	
重 量	4.0kg (バッテリー装着時)	

※バッテリーパックの状態や充電されている環境により変化します。

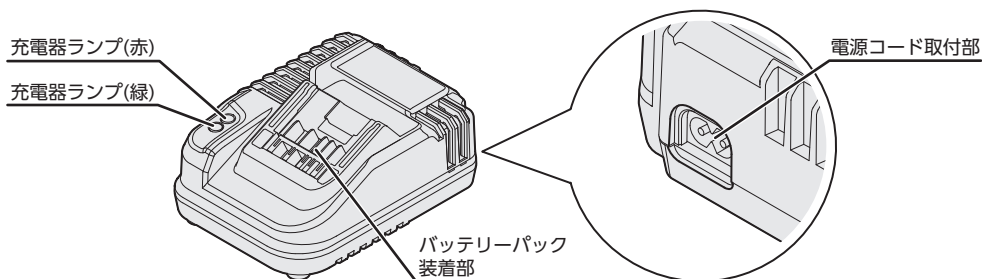
■ バッテリーパック No.JBE18050K



充 電 池	リチウムイオン電池
交渉電圧・容量	18V DC 5000mAh
充 電 時 間	135分 ※
寸法(長さx幅x高さ)	119mm x 78mm x 69mm
重 量	0.8kg
充 電 器	JHE180K (専用充電器)

※バッテリーパックの状態や充電されている環境により変化します。

■ 充電器 No.JHE180K



入 力 電 圧	AC 100V~240V
入 力 周 波 数	単相交流 50/60Hz 共用
出 力 電 圧	10.8V 14.4V 18V DC
出 力 電 流	3A(10.8V 14.4V) 2.3A(18V)
操 作 温 度	0 ~ 50℃
保 管 温 度	-20 ~ 70℃
寸法(長さx幅x高さ)	145mm x 109mm x 77mm
重 量	0.4kg

お使いになる前に

■バッテリーパックの充電

ご購入時にバッテリーパックは充電されていません。ご使用前に必ず充電してください。



- 充電は 0 ~ 50℃ の場所で行う。
- バッテリーパックの温度が 0℃ 以下、または充電器が置かれている環境と大きく温度差がある場合は、バッテリーパックを充電器が置かれている環境で放置（1 時間以上）してから充電する。
- バッテリーパックを 2 個以上連続で充電する場合は、充電器が冷めるまで（30 分以上）充電を休止させる。

■LED ライトについて

本体に装着されている「LED ライト」は、トリガースイッチの操作と連動して点灯し、作業する部分を照らすためのものです。



- 暗所の移動に使用しない。
- LED ライトを直接見たり、人に向けない

■安全シグナルについて

この取扱説明書では、誤った使い方をしたときに発生する危害や損害の程度を以下のように区分しています。



けい こく
警告

誤った使い方をすると、死亡または重傷を負う恐れがあります。



ちゅう い
注意

誤った使い方をすると、負傷または本体損傷の原因となる恐れがあります。

また、各項目にて以下のマークを付けています。



禁止行為

製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するマーク。



必ず行う

製品の取り扱いにおいて、必ず行ってもらう行為を意味するマーク。



注意事項













製品の取り扱いにおいて、注意を喚起するマーク。












確認事項

製品の取り扱いにおいて、事前に確認しておく事項や、使い方の応用を示すマーク。

■安全上のご注意

 警告 <small>けい こく</small> 死亡または重傷を負う恐れがあります。		
マーク	事項	危害・損害
	専用バッテリーパック、充電器以外は使用しない。	感電による死亡や重症の原因になる。
	雨中や湿気の多い場所で使用しない。	感電による死亡や重症の原因になる。
	濡れた手で使用しない。	感電による死亡や重症の原因になる。
	可燃性ガスや液体のある場所で使用しない。	ケガや火災の原因になる。
	点検及び保管時は、バッテリーパックを本体から取り外す。	ケガや器物破損の原因になる。
	本体を持って移動する時は、トリガーに指をかけない。	ケガや本体破損の原因になる。
	暗い場所で作業を行わない。	本体の破損や器物損傷のおそれがある。
	保護めがねや保護マスク、耳栓などの保護具を使用する。	ケガや本体破損の原因になる。
	作業対象物を必ず固定する。	本体破損の原因になる。
	バッテリーパックの装着は、トリガースイッチをロックした状態で行う。	ケガや本体破損の原因になる。
	バッテリーパックを火中に投入しない。	ケガや火災の原因になる。

 注意 <small>ちゅう い</small> 負傷または本体損傷の原因となる恐れがあります。		
マーク	事項	危害・損害
	分解および改造をしない。	ケガや本体破損の原因になる。
	定期的に保守点検を行う。	怠ると故障の原因になる。
	本体に亀裂や破損が無いか定期的に確認する。	怠るとケガや本体破損の原因になる。
	小さい子どもが触れないところに保管する。	ケガや本体破損の原因になる。
	トリガースイッチで始動、停止のできない製品は、使用を中止する。	怠るとケガや本体損傷の原因になる。
	本体が熱くなったり、異常を感じたら使用を中止する。	ケガや本体破損の原因になる。
	本体に強い衝撃を与えない。	本体の破損や器物損傷のおそれがある。
	本体を投げない。	ケガや本体破損の原因になる。



注意

負傷または本体損傷の原因となる恐れがあります。

マーク	事項	危害・損害
	充電器を使用しないときは、電源プラグを持ってコンセントから抜く。	ケガや破損の原因になる。
	充電器は、必ず100Vの電源を使用する。	ケガや破損の原因になる。
	電源コードは、定期的に点検する。	ケガや破損の原因になる。
	直流電源やエンジン発電機に充電器を接続しない。	ケガや破損の原因になる。
	温度が0℃未満、または50℃以上の環境で充電を行わない。	ケガや破損の原因になる。
	温度が0℃未満、または50℃以上の環境で充電を行わない。	破損の原因になる。
	電源コードを熱源に近づけない。	破損の原因になる。
	バッテリーおよび本体の端子部にキズやホコリが付かないようにする。	破損の原因になる。

■使用上のご注意



警告

死亡または重傷を負う恐れがあります。

マーク	事項	危害・損害
	電池が液漏れしたり、異臭がしたりするときは使用を中止する。	発熱、破裂などの恐れがある。万が一電池の液が皮膚や衣類に付着した場合は、すぐに多量のきれいな水で洗い流す。
	分解および改造をしない。	感電による死亡や重症の原因になる。
	バッテリーパックに衝撃を加えない。	感電による死亡や重症の原因になる。
	専用の充電器以外は使用しない。	火災や器物損傷の原因になる。
	充電時間が極端に短くなったバッテリーパックは使用しない。	感電による死亡や重症の原因になる。
	濡れた手で使用しない。	感電による死亡や重症の原因になる。
	充電中に布や可燃物で覆わない。	火災や器物損傷の原因になる。
	バッテリーパックの端子間を短絡させない。	火災や器物損傷の原因になる。
	電源コードに異常が見られる場合は、使用を中止する。	ケガや器物損傷の原因になる。



ちゅうい
注意

負傷または本体損傷の原因となる恐れがあります。

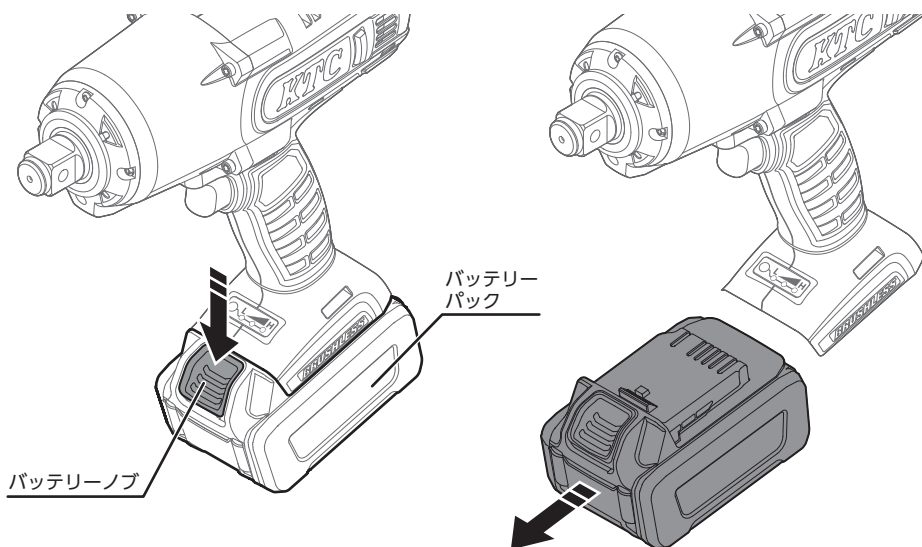
マーク	事項	危害・損害
	直射日光の当たる場所や熱機器の近くなど、高温の場所には放置しない。	本体破損の原因になる。
	水の中に落としたり、水の中に放置したりしない。	ケガや本体破損の原因になる。
	取扱説明書に記載している以外の用途には使用しない。	本体破損の原因になる。
	化学薬品、海水、水分などを付着させたまま放置しない。	怠ると本体破損の原因になる。
	本体に油やグリースが付いた状態で使用しない。	怠ると本体破損の原因になる。
	本体、バッテリーパック、充電器に異物が混入しないようにする。	怠ると本体破損の原因になる。
	修理は、必ず購入した販売店に依頼する。	怠ると本体破損の原因になる。

本体の使用方法

■バッテリーパックの使い方

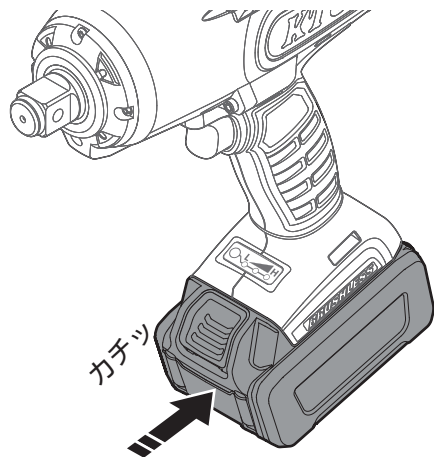
○バッテリーパックの取り外し

バッテリーノブを押しながら、バッテリーパックを前方に引き出す。



○バッテリーパックの装着

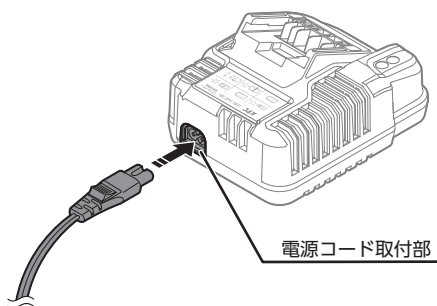
- ①バッテリーパックを本体に装着する。
- ②バッテリーノブのロックがかかったことを確認する。(カチッと音がします)



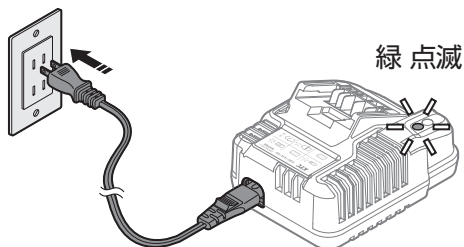
- ・本体の端子部に異物がないことを確認する。
- ・バッテリーパックがスムーズに装着できない場合は、無理に装着せず、購入した販売店に修理を依頼する。

○バッテリーパックの充電

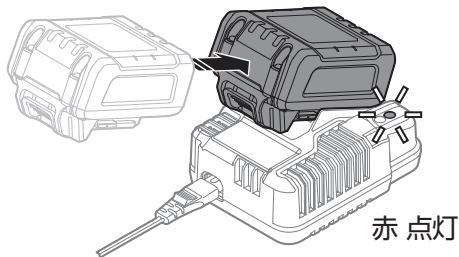
- ①充電器の電源コード取付部に、電源コードのコネクタを差し込む。



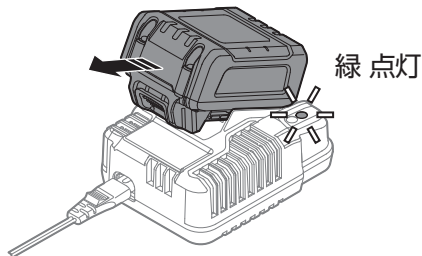
- ②コンセントに、電源コードの電源プラグを差し込む。
(充電器の緑色 LED が点滅します)



- ③バッテリーパックおよび充電器の端子部に異物がないことを確認し、充電器のバッテリーパック装着部にバッテリーパックを差し込む。
(充電器の赤色 LED が点灯します)

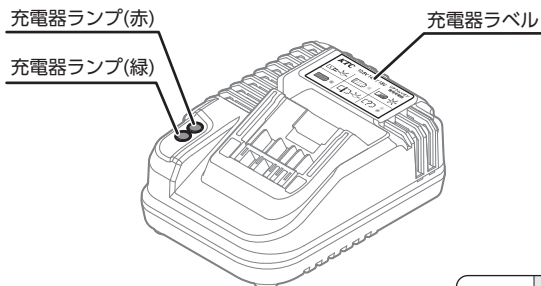


- ④充電器の緑色 LED が点灯し、充電が完了したら、充電器からバッテリーパックを引き抜く。

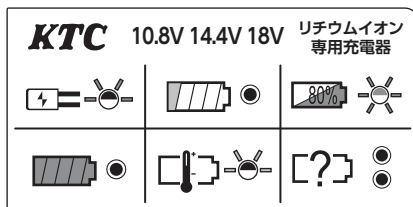


○充電器ランプの見かた

充電時は、以下の方法で充電状態を示します。



充電器ラベル



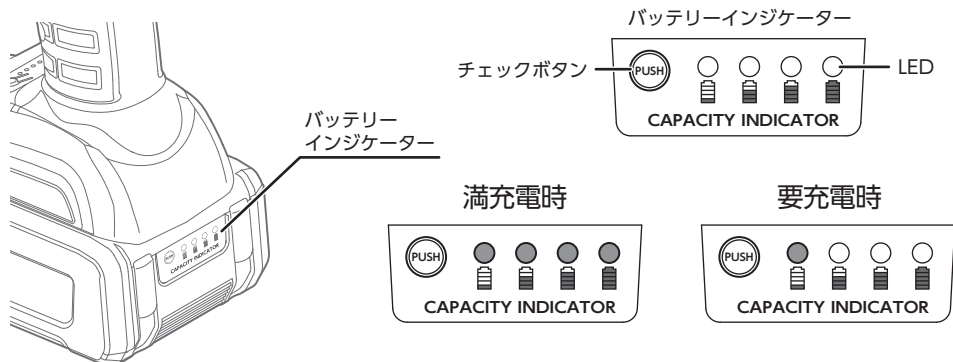
充電器ランプの見かた



ランプ		アイコン	内容	充電器およびバッテリーパックの状態
緑	赤			
●●			通電中 (スタンバイ)	充電器に電源が入っています。
	●		充電中	正常に充電中です。
●●●			80%充電完了	
	●		充電完了	正常に充電が完了しました。
	●●		バッテリーパック 温度異常	バッテリーパックの温度が異常です。適正な温度になってから充電してください。
	●●		バッテリーパック 不明	バッテリーパックの故障か、正規のバッテリーではありません。

○バッテリーインジケータの見かた

バッテリーパックにあるインジケータは、チェックボタンを押すことで、その時点のバッテリーの状態を表示します。



■バッテリーパックについて

○長くお使いいただくために

- ・バッテリーパックを使用しないときは、ホコリが付かない場所で保管してください。
- ・短絡させないように保管してください。

○長時間ご使用にならないとき

- ・バッテリーを 80% 程度充電した状態で、保管してください。保管中も6ヶ月に一回程度、バッテリーを充電してください。

○バッテリーパックの寿命

- ・満充電しても、ご購入後と比較して半分程度の作業しかできなくなったときは、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックをお買い求めください。バッテリーパックは、消耗品扱いとなります。

○バッテリーパックの廃棄

- ・本製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みのバッテリーパックは廃棄せず、リサイクル協力店までお持ちください。








- ・バッテリーパックを火中に投入しない。










- ・バッテリーパックを廃棄するときは、テープなどを使用し、短絡防止の措置をとる。

■インパクトレンチの使用法

インパクトレンチ用ソケットをご使用ください。

 警告 <small>けい こく</small> 死亡または重傷を負う恐れがあります。		
マーク	事項	危害・損害
	本体を確実に保持する。	ケガや器物破損の原因になる。
	回転する先端に顔や手を近づけない。	ケガの原因になる。
	長時間の連続作業はしない。	本体の温度上昇で、ケガや器物破損の原因になる。
	密閉された空間で使用しない。	発煙、発火、破裂のおそれがある。

 注意 <small>ちゅう い</small> 負傷または本体損傷の原因となる恐れがあります。		
マーク	事項	危害・損害
	先端工具は、取扱説明書に従い、確実に取り付ける。	ケガや器物破損の原因になる。
	軍手などの巻き込みのおそれがあるものは使用しない。	ケガや器物破損の原因になる。
	スカーフやネクタイなどの巻き込みのおそれがあるものは着用しない。	ケガや器物破損の原因になる。
	空回転させない。	ケガや器物破損の原因になる。
	本体から出る空気に触れない。	火傷やケガの原因になる。
	締め付け後は、トルクレンチで確認する。	規定トルクが指定されているものは、トルクレンチを使用する。

○先端工具を取り付ける

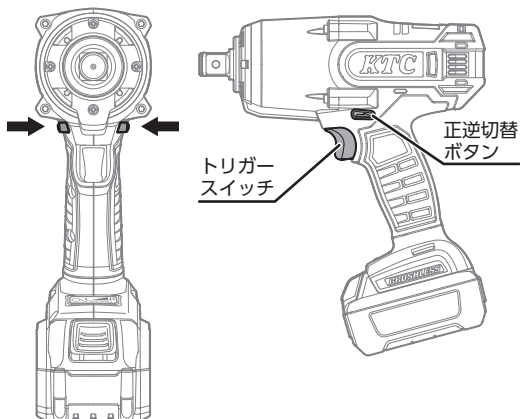
1. トリガースイッチをロックする。

正逆切替ボタンを中央で止め、
トリガースイッチをロックする。



- ・先端工具を取り付ける前に、トリガースイッチがロックされていることを確認する。

ボタンの位置



2. 先端工具を取り付ける。

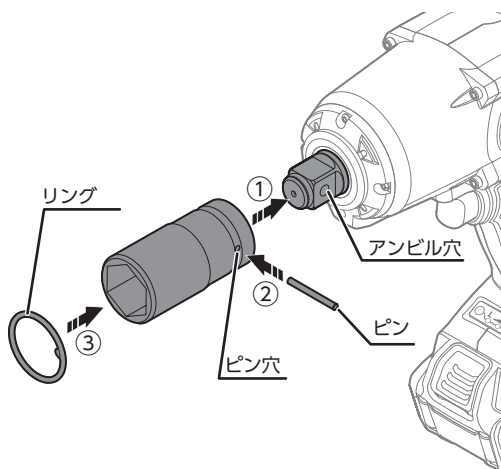
①ソケットのピン穴とアンビル穴の
位置を合わせて取り付ける。

②ピンを挿入する。

③リング内側の突起をピン穴に入れ
るように取り付け、ピン抜けを防止する。



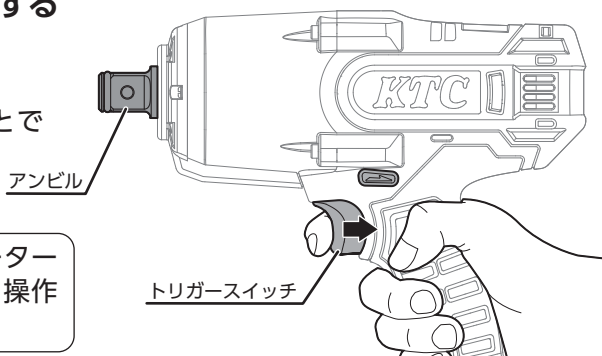
- ・ピンが飛び出さないようにリングが装着されているか確認する。



○インパクトレンチを操作する

トリガースイッチの操作

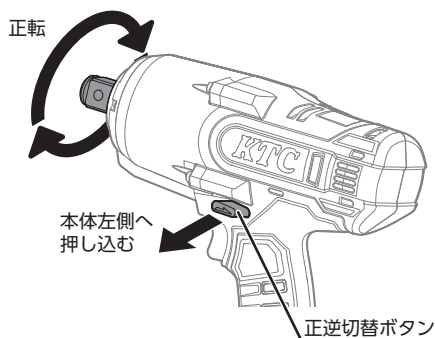
トリガースイッチを引くことでアンビルが回転する。



・正逆切替ボタンはモーターが完全に停止してから操作する。

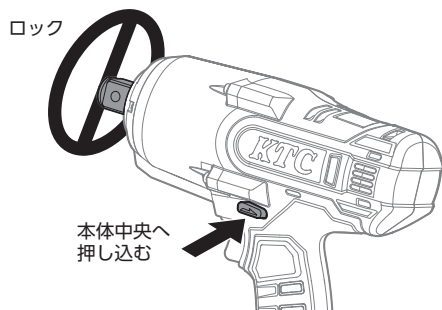
回転方向の切り替え（正転）

正逆切替ボタンを左側へと押し込むことで、アンビルの回転方向が正転に切り替わる。



回転方向の切り替え（ロック）

正逆切替ボタンを本体中央へ押し込むことで、インパクトレンチのトリガースイッチをロックすることができる。



回転方向の切り替え（逆転）

正逆切替ボタンを右側へと押し込むことで、アンビルの回転方向が逆転に切り替わる。



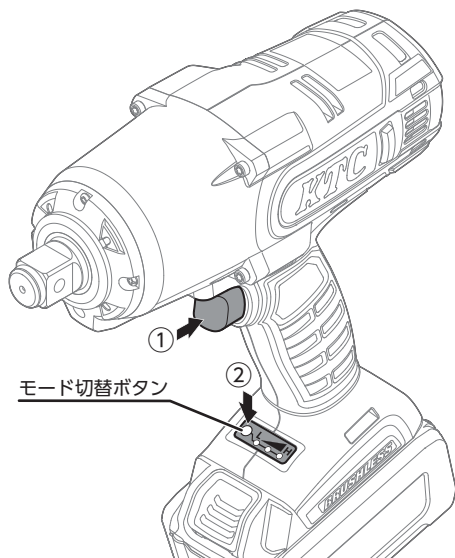
・3秒以上正転 / 逆転させてもボルト・ナットが緩まない場合、ボルト・ナットが過大なトルクで締め付けられている恐れがあります。無理に回転を続けると、本体故障の原因になります。

○仮締めモードの操作

モード切替ボタンを操作することで、インパクトレンチを3段階のモードに切り替えることができます。

モードの切り替え

- ①トリガースイッチを軽く引き、本体の電源を入れる。(モード切替のLEDが点灯します。)
- ②モード切替ボタンを押し、任意のモードに切り替える。



・仮締めモードは、左右両回転ともに機能します。

モードの見かた

《仮締めモード1》

仮締めモード1のときは、LEDが1つ点灯し、アンビルの回転は約300N・mで停止する。

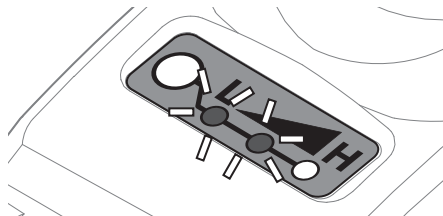
仮締めモード1 (約300N・m)



《仮締めモード2》

仮締めモード2のときは、LEDが2つ点灯し、アンビルの回転は約500N・mで停止する。

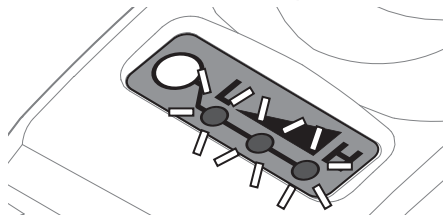
仮締めモード2 (約500N・m)



《フルパワーモード》

フルパワーモードのときは、LEDが3つ点灯し、アンビルは最大トルクで回転する。

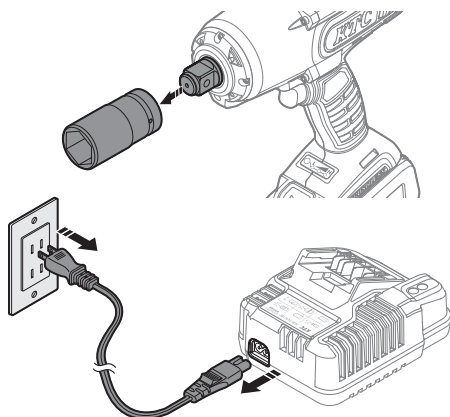
フルパワーモード



保管方法とメンテナンス

■保管方法

- ①正逆切替ボタンを中央で止め、トリガススイッチをロックする。
- ②先端工具を取り外す。
- ③コンセントから電源コードの電源プラグを抜く。
- ④充電器から電源コードのコネクタを抜く。
- ⑤専用ケースに入れ保管する。



- ・ゴミ、ホコリの多い場所・溶剤などの引火物のある場所では保管しない。
- ・子供の手が届く場所・自動車の車内・直射日光が当たる場所・多湿な場所では保管しない。
- ・ホコリの付かない場所で保管する。

■メンテナンス

《本体の汚れ》

本体およびバッテリー、充電器が汚れた場合は、バッテリーを外した状態で、柔らかい布などを使用し、ふき取る。

《各部の点検》

バッテリーを外した状態で、各部ねじの緩み、充電器の電源コードなどの亀裂、破損などの異常がないか、定期的に点検する。



- 本体およびバッテリー、充電器のふき取り
 - ・ぬれた布やシンナー、アルコール、ベンジンなど揮発性のもので本体をふかない。
- 充電器、バッテリーパック
 - ・充電器は、必ずコンセントから電源コードを抜いてメンテナンスを行う。
 - ・端子部にゴミやホコリが付着している場合は、非金属製ブラシなどを使用して、端子部に無理な力がかからないように気を付けて取り除く。

■製品の廃棄

本製品を廃棄するときは、廃棄する地域の自治体の条例に従い、適切に処理してください。

故障かな？と思ったら

故障かなと思ったら、修理を依頼される前に、下記の点検をお願いします。
症状が改善される場合があります。

症 状	考えられる原因	対処の方法
動作が途中で停止する。	本体が高温になり保護機能が働いている。	作業を中断し、本体の温度が下がってから使用する。
動作が途中で停止する。 バッテリーパックが熱い (パワーインジケーターが 全て点滅する)。	バッテリーパックが高温になり、保護機能が働いている。	作業を中断し、バッテリーパックの温度が下がってから使用する。
動かない。または動いても すぐ止まる (パワーインジ ケーターのLED1個が点滅 する)。	バッテリーパックを充電して いない。	充電する。
動かない。トリガースイッチ を引いても操作できない。	バッテリーパックと本体の接 点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除く。
	バッテリーパックが故障して いる。	新しいバッテリーパック に交換する。
満充電しているのに締付トル クが弱い。または回転が 遅い。	バッテリーパックの寿命。	新しいバッテリーパック に交換する。
	バッテリーパックの残量が 少なくなった。	充電する。
	バッテリーパックを長期間 放置していた。または購入 したばかりである。	充電する。
	温度が低い場所 (0℃以 下) で保管したバッテリー パックを使用した。	バッテリーパックの温度 が、0~50℃になってか ら再度充電する。
トリガースイッチを離すと 異音が生じて停止する。	ブレーキの動作音。	故障ではない。



・上記の対処方法を実施しても症状が改善されない場合は、直ちに使用を中止する。

修理を依頼される前に、下記の点検をお願いします。

症 状

コンセントに電源コードの電源プラグを差し込んでも、通電中（スタンバイ）（緑色LEDが遅い点滅）にならない。

日常使用しているバッテリーパックが充電開始後1.5時間以上充電しても、充電完了（緑色点灯）にならない。

長期間使用していなかったバッテリーパックが充電開始後4時間以上充電しても、充電完了（緑色LEDが点灯）にならない。

各部の点検で、症状の改善が見られない場合は、

本体・バッテリーパック・充電器

をセットで、ご購入の販売店または KTC 取扱店に修理を依頼してください。

